

原敬政友会内閣と国際協調

*1 陸・海軍大臣と外務大臣は政党とは関係なく選ばれました。

*2 原敬は元来武士の一族の出身でしたが、平民として選挙に出馬、爵位ももたず「平民宰相」と呼ばれました。

*3 中国にかかわる国の間で九カ国条約が結ばれ、アメリカの旧来の主張である門戸開放、機会均等などの原則が確認され、石井ラッパ協定は破棄されます。

*4 日米英仏で四カ国条約が結ばれ、太平洋地域の安全保障の取り決めがなされ、日英同盟は解消されます。

*5 その後海軍出身の加藤友三郎と山本権兵衛があいついで内閣を組織します。

この間、普通選挙法の導入が検討されますが、政友会の反対や関東大震災などによって実現しませんでした。

●初の本格的政党内閣*1を組織した立憲政友会の①_____ *2は、国民の大きな期待を背景に、地方鉄道の拡充など積極的な財政政策を取りました。

●しかし、当時要求が高まっていた②_____には否定的で、選挙法を改正し、納税資格を3円以上として選挙人の人数を増やしました。

●この内閣のとき、③_____は終わり、1919年のパリ講和会議に出席し、ヴェルサイユ条約に調印しました。

●なお、この条約で、旧ドイツ利権が日本に渡されたことに抗議して、中国では④_____運動とよばれる反日運動が発生しました。

●1921年、①は暗殺され、政友会の高橋是清が首相をひきつぎました。この内閣のとき⑤_____会議が開催され、⑥_____条約が結ばれたほか、中国*3や太平洋*4についての条約が締結されました。

●ヴェルサイユ条約と⑤会議でできた、列強の⑦_____により平和を維持しようとする国際体制を⑤体制といいます。

●これに呼応する形で、日本で⑦外交が展開されます。こうした外交は、この政策を中心にすすめた幣原喜重郎外相の名を取って幣原外交とも呼ばれます。

●高橋是清内閣のあとは、非政党内閣がつづきます。*5

●1923年9月1日⑧_____が発生し、東京をはじめ首都圏に大きな被害がでました。

混乱の中、戒厳令が出され、多くの朝鮮人や中国人が自警団に殺害されたり、無政府主義者の大杉栄が憲兵隊に殺されるという事件も発生しました。

参照：旺文社「教科書よりもやさしい日本史ノート」